

青森別院 お囃子の会『風』

“風” 名称の意味

津軽地方は、夏が短く冬は強い風が吹き荒れ、地吹雪舞う厳しい自然環境があります。

その反面、春の雪解けの水はあらゆる生き物に大いなる恵みをもたらします。

今の世の中は、苦しみをもたらす「風」が吹き荒れています。

そのような中において、仏さまの教えを学び、青森別院や「風」の活動を通して、心を磨き「マイトリー（おもいやり）の風」を社会に吹かせいけるように努力精進してまいりたいと思っております。

マイトリーは、インドの古い言葉(サンスクリット)、“友情”とか“親しき交り”という意味です。

お互いに慈(いつくしみ)“おもいやり”の心です。

マイトリー慈の五修

- ・ 大自然の中に生かされている存在を知ろう
- ・ 家族に対する責任を果たそう
- ・ 人々と共に喜びも苦しみも分かち合おう
- ・ すべて生き物に対する思いやりをもとう
- ・ 自分の持つ能力を世の中のために生かそう

『風』の心得

1. 感謝の心で活動する
2. 報恩の心を忘れない
3. 会員のつながりを大切にする
4. 己を磨き他に喜びを与える